

令和2年度

第3回 北広島市都市計画審議会

議事概要

令和2年11月9日(月)

市役所5階 委員会室

北広島市企画財政部都市計画課

令和2年度 第3回北広島市都市計画審議会

1 日 時 令和2年11月9日(月) 17時00分～17時52分

2 場 所 北広島市役所5階 委員会室

3 出席者 委 員：会長ほか6名
事 務 局：企画財政部長ほか4名

【委員】

安藤 淳一(会長)	川崎 彰治
岸 邦宏	小山 茂(欠席)
佐藤 芳之介	島崎 圭介(欠席)
鈴木 聡士	田原 咲世(欠席)
野田 政志	古川 澄隆

【事務局】

企画財政部長	川村 裕樹
都市計画課長	嘉屋 康夫
都市計画課 主査	大西 康文
都市計画課 主任	市川 嘉人
都市計画課 主任	高橋 和巳

4 傍聴者 1名

5 議事内容

1 開 会

2 会長選出

会長に安藤委員を選出

3 会長挨拶・職務代理者の指名

職務代理者として岸委員を指名

4 諮問書手交

5 議事録署名委員の指名

6 協議事項

会議及び会議録の公開について

会議及び会議録の公開について承認

7 議 事

諮問案件第1号「北広島市都市計画マスタープラン（第2次）案」について

諮問案件第1号（資料1）について事務局から説明

[質問・意見]

A委員

バリアフリー化の計画等について、検討したことがあれば説明いただきたい。

事務局

バリアフリー法に基づく移動等円滑化促進方針等の策定については、次期総合計画に記載される。都市計画マスタープランにおいては、第3章の6「だれにもやさしい都市づくりの基本方針」の中に、駅・駅前広場のバリアフリー化の推進について記載されている。

B委員

日々の業務において、北広島市の特徴である5つの地区を体験している。今後とも市と連携を図っていきたい。

C委員

ボールパーク構想等を契機として、限られた市街地内の有効な土地利用を進めてもらいたい。

D委員

第3章の5「都市防災の基本方針」の中で、消防団との関わりなどはどう考えているのか。

事務局

消防団との関わりについては、上位計画である次期総合計画において記載される。

◆E委員

ボールパーク構想について、業務上関係していることから、今後とも協力していきたい。

◆F委員

ボールパーク構想を生かし、新駅や北広島駅周辺の開発等により、人口密度を高めながら、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを実現することが重要と考える。

◆G委員

これからのまちづくりでは、各地区の拠点づくりと、拠点を結ぶ交通の整備が重要と考えている。都市計画マスタープランに沿って市民に寄り添ったまちづくりを進めていただきたい。

◆A委員

都市計画マスタープランを策定する中で、市の中心にある緑の軸と、5つの地区をうまくまとめていくことが重要だということを再認識した。計画を実現するために、今後も委員の皆様の力をお借りしたいと考える。

◆会長

諮問案件第1号「北広島市都市計画マスタープラン（第2次）案」について、審議の結果、案のとおり承認することにご異議ないか。

（異議無し）

◆会長

審議会の答申として、諮問案件第1号「北広島市都市計画マスタープラン（第2次）案」について案のとおり承認する。

8 その他

◆事務局

市の近況報告の後、次回の都市計画審議会の開催予定について説明

9 閉会